

道

2018・6・13

通信 No 1490

次週予定 6月20日(水) 中山先生
すばらしい未来(p)、ヴォルガの船曳唄(p)

Bass 福本 三朗

本年2月歴史の長い「道」に66歳の新人!?!と
して入団。過去第九合唱団に数回参加したことがあ
ったものの、本格的な合唱団に参加したのは初めて
で緊張の毎日です。本番直前風邪にかかわらず、5
月27日本番では何とか皆様と一緒にホールに声
を響かすことができました。ロシア並びにウクライ
ナ民謡の素晴らしさに心が躍る思いでした。経験豊
富な先生方の熱心な指導と先輩諸氏の叱咤激励、運
営委員会の支援活動に改めて感謝する次第です。

私は父親が長くロシア貿易に携わっていたこと
から、若い頃からロシア民謡に親しみを感じていま
した。父は「バイカル湖のほどり」が一番のお気に入り
で、私は「ウラルのグミの木」、ロシアを賛美
する「ロシアすばらしき国」や「ロシア国歌」が印
象に残る曲です。物心ついて私もロシア語を勉強す
る「道」へ。将来は外交官か商社マンを夢見ていま
したが、運命のいたずらで鉄鋼メーカーに就職、現
在は時折ロシア民謡を思い出す程度です。

さて歴史長い「道」に“迷い”込んだ感想として、
合唱団「道」には独自の文化がある、すなわち最高
の合唱を実現するため、指揮者と団員の間で盛んな
意見交換を繰り返すことではないでしょうか？
団員が過去の職務経験や栄光に惑わされることな
く、対等により良いものを創造する、それが半世紀
に及ぶ「道」の原動力=誇りではないかと。また外
部から独立した手作りの運営で、自由に選曲でき
ることも強みでしょう。この伝統は末永く伝えてい
きたいものです。

今後の「道」が向かう方向性を占うとき、たと
えば5年後を思い描くことも興味深いかも知れませ
ん。舗装された道かイバラの道か、真っ直ぐな道か
曲がりくねった道か、一本道か分かれ道か、登り坂



か下り坂か。
合唱団として
の意義と、時
代の変化(少
子高齢化・IT
化・団員の高

年齢化・ロシア民謡への期待感など)などを考慮して。

少子高齢化が進む中で団員募集の難しさがあり
ます。アマチュア合唱団として限られた予算の中で、
高いレベルの合唱を実現し、広報宣伝により知名度
をアップさせていくことが求められていると思
います。メディアへの発表機会を増やし、ネット活用
により、誰でもどこでも合唱団「道」の優れた演奏
を身近に感じられるように。高い完成度の代表曲の
選定とPR。(例“百万本のバラ”:CD録音~メ
ディア配布・ネット掲載。“百万本のバラ”と言
えば「道」、「道」と言えば“百万本のバラ”の
定着~TV出演~夢のNHK紅白出場へ。)

半世紀を誇る「道」には固定ファンがたくさん
存在し、中には団員経験者やその家族も含まれ、
「道」演奏会に大きな期待を抱いていらっしゃるの
ではないでしょうか? 例えば「道ファンクラブ」
の創設~会員意見の反映~潜在ファンの掘起し~
チケット販売への協力~「道グッズ」の販売(バ
ジ・Tシャツ・CD・DVDなど)~ファンクラブ交流
会など。

最後に、「道」の練習曲以外のロシア民謡をロシ
ア語で歌いたい方がいらっしゃいましたら、ぜひ一
緒に覚えて歌いましょう。 2018.06.01

今後の会議予定

6月20日(水) 4時~ 企画選曲委員会
7月 1日(日) 県立音楽堂 抽選会
(50周年会場)
7月 4日(水) 2時30~ 運営委員会
於 県民サポートセンター

今日の片づけは ソプラノとバス